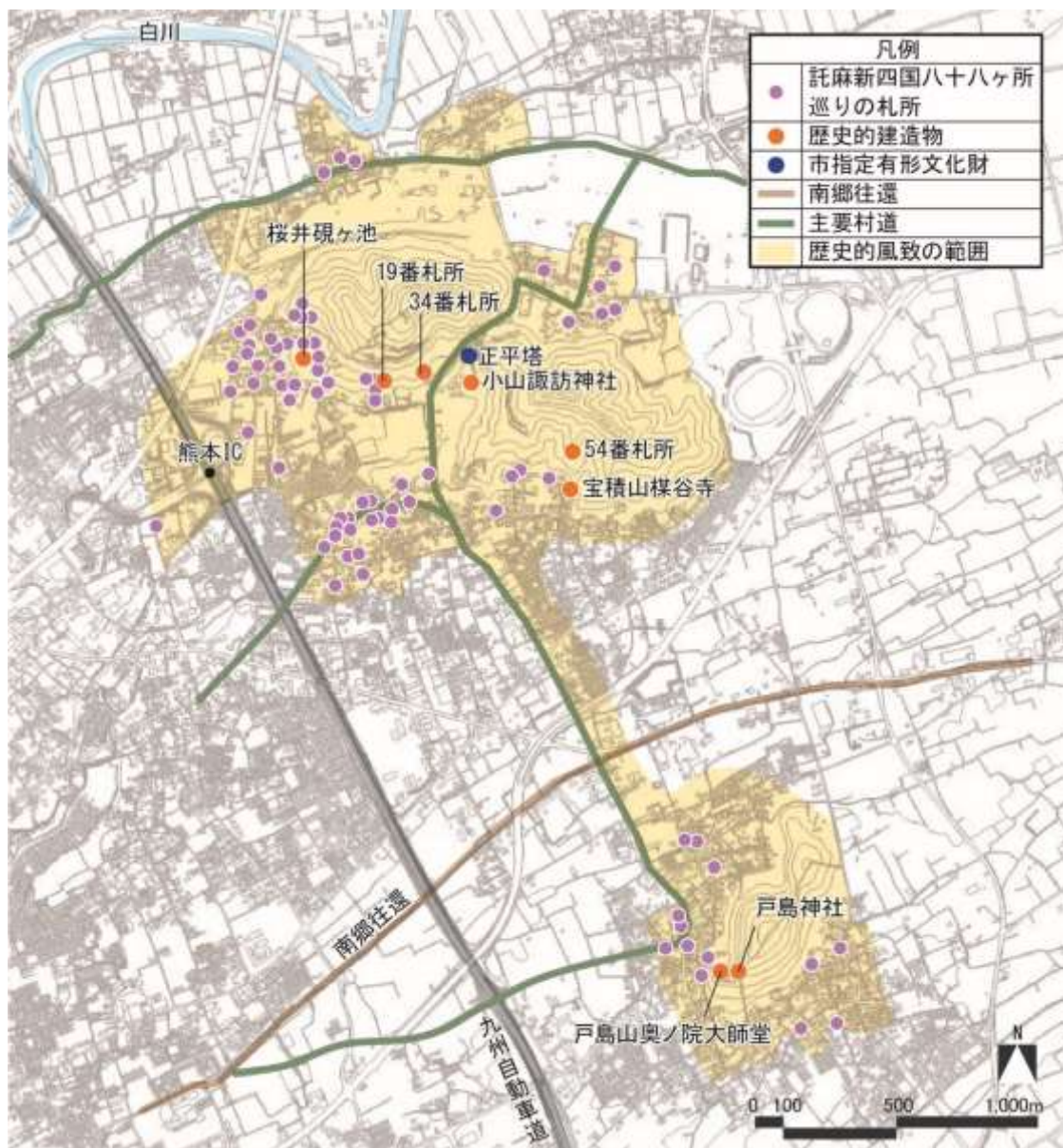


令和 3 年度 (2021 年度) 熊本市郷土文化財認定状況について

名 称	たぐましんしこくはちじゅうはちかしょめぐり 託麻新四国八十八ヶ所巡り
分 類	その他の生活文化
文化資源の 範囲	託麻三山一帯 (小山山・神園山・戸島山)
文化資源の 保存継承活動団体	たくま八十八ヶ所巡り実行委員会
内 容	託麻新四国八十八ヶ所巡りは、四国の八十八ヶ所巡りを模して大正 15 年 (1926) に託麻三山一帯に八十八ヶ所の札所を開設したもので、以後毎年 4 月に集団巡礼が行われている。 託麻に八十八ヶ所を開設する契機となったのは、発起人である上野富八氏が自身の病氣平癒のため弘法大師伝説の地である桜井硯ヶ池そばの大師堂へ毎日祈願に通い、全快したため大師への恩返しとして託麻三山一帯に八十八ヶ所の札所開設を行ったものであり、世話人とともに札所の建設者を募り四国八十八ヶ所すべての寺に許可をとるなど、およそ 30 年の歳月をかけて大正 15 年 (1926) に開設に至った。 現在は 84 ヶ所の札所が残り、各札所は開設者の子孫である地域の協力者が所有・管理し大切に守り伝えられている。札所の祠は木製のものやコンクリートブロック製のものが多く、安置されている石仏は札所開設時の大正 15 年銘のあるものが多い。 主な保存継承活動は毎年 4 月第 1 土曜日に実施される集団巡礼で、保存活動団体である「たくま八十八ヶ所巡り実行委員会」の主催で実施され、地域住民や愛好家など百人弱が参加する。実施当日は、小山諏訪神社へ集合し実行委員会の案内で各札所を巡る。19 番札所の立江寺では修行大師像の前で般若心経をあげるなど、およそ 5 時間かけて約 20 km を歩く。その他の活動としては、学校での地域学習や地域イベント時に合わせた小規模の札所巡りなど、継続的な継承・啓発活動が行われている。 また、この活動は「託麻新四国八十八ヶ所巡りにみる歴史的風致」として、令和 2 年 (2020) 策定の熊本市歴史的風致維持向上計画において維持向上すべき歴史的風致 8 つのうちの 1 つに位置づけられている。  令和 3 年度 集団巡礼の様子  札所



地図：『熊本市歴史的風致維持向上計画』（令和2年、熊本市）



郷土文化財認定に伴い制作したロゴマーク



PR 支援用に製作したステッカー（上段）と
札所掲示用パネル（下段）

託麻新四国八十八ヶ所 札所一覽





大日如来



十一面観世音菩薩



不動明王



薬師如来



阿弥陀如来



十一面観世音菩薩



釈迦如来



薬師如来



薬師如来



十一面観世音菩薩



阿弥陀如来



不動明王



大通智勝如来



阿弥陀如来



千手観世音菩薩



薬師如来



大日如来



大日如来



十一面観世音菩薩



毘沙門天



阿弥陀如来



十一面観世音菩薩



千手観世音菩薩



薬師如来



阿弥陀如来



聖観世音菩薩



馬頭観世音菩薩



千手観世音菩薩



大日如来



釈迦如来



薬師如来



薬師如来



薬師如来



薬師如来



阿弥陀如来



十一面観世音菩薩



千手観世音菩薩



千手観世音菩薩



千手観世音菩薩



聖観世音菩薩



千手観世音菩薩



聖観世音菩薩



4十一面観世音菩薩



聖観世音菩薩



薬師如来